

一手になる気



囲碁棋士

青葉かおり

囲碁棋士になって、最も多く受けた質問は、

「囲碁棋士って、普段は何してるんですか？」

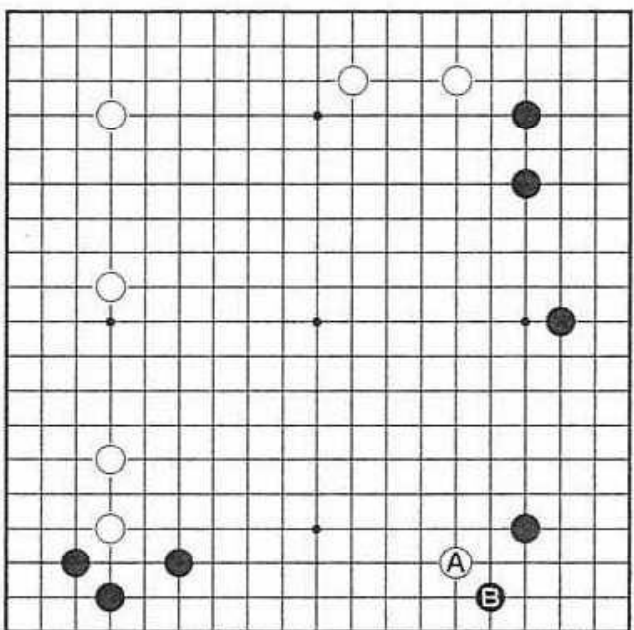
もちろん、芸の幅を広げる為に遊んどるんだがね！……というように事は一流棋士にしか許されません。それでは、囲碁棋士の謎めいた生活について関係者から話を聞いてみましょう。

証言その1（棋士・30代男性）

・平日の午前中に、犬の散歩をしていたら近所の方に「あの人、失業中かしら」と囁かれました。証言その2

（囲碁ライター・20代男性）

・水曜日、某棋士に電話をかけた



ところ、「君、水曜日に電話をかけるとは失礼じゃないかね」と怒られました。

うーん、確かに囲碁界を知らないと、謎な生活かも。

囲碁界ではプロ同士の公式対局は主に木曜日にあります。前日の水曜日は対局に向けて集中力が高まるため、電話を嫌う棋士もいます。私も水曜日は対局前で気分が盛り上がるせいかな、ついつい、

「はっ、また知らない間にお菓子の袋が空になつとるがね！」

でも、木曜日に対局すると体重が減るので、大丈夫なんだぎゃ。

さて、水・木曜日以外の過ごし方は、棋士によって様々です。一人で研究する方や、棋士仲間と研究会を開く方など、囲碁の勉強方法もそれぞれ。また、囲碁関係のイベントやテレビ番組への出演、アマチュアへの指導や囲碁普及に努める棋士もいます。

図は一昨年度のNHK杯3回戦、黒は彦坂直人九段、白は武宮正樹九段の対局です。今、白Aに黒Bと受けた場面。白番の武宮九段の雄大な棋風は「宇宙流」と呼ばれています。今後の武宮九段の構想を考えてみてください。